

おくの細道ほそみち

松尾まつお

芭蕉ばしやう

月日つきひは百代はくたいの過客かかくにして、

行きいきかふ年うとしもまた旅人たびとなり。

舟ふねの上うへに生涯しやうがいをうかべ、

馬うまの口くちとらへて老いおいを迎むふる者もの

は、日々ひび旅たびにして旅たびを栖すみとす。

●書ける字はなぞりましょう。声に出して読みましょう。